



# 「三本の矢」の強さ

～温もりに満ちた学校へ～



校長室だより 5月号

2024. 5. 29

<不撓不屈の芦中生>

- ・思いやりと温かな心
- ・言葉で伝え心で聴く
- ・自ら主体的に行動

## 行事を終えて学んだこと

5月は、各学年で、今年度最初の大きな行事がありました。1、2年生は遠足、3年生は修学旅行に出かけてきましたね。どの学年も、天候に左右されることなく、計画どおり実施できて良かったですね。

私は、修学旅行に同行しましたが、全学年の出発式に参加することができました。どの学年も、リーダー会の人たちが司会や諸注意を行い、「自分たち



の力で成功させよう」という強い意欲が感じられました。さて、みなさんは、それぞれの活動を通して、どんなことを感じましたか？その時、その場所で感じたこと。終わってから思い起こして感じたこと。どちらもあると思います。私が3年生の修学旅行中の様子を見て感じたことは、「仲間



の力、集団の力ってすごいな」ということです。おそらく、自分1人ではできなかったこと、気づかなかったことが、仲間と一緒に、仲間のことを考えたらできてしまう。そんな場面をたくさん見ることができました。おそらく、1年生も2年生も、そんなシーンが数多くあったのではないのでしょうか。助けてあげたり助けてもらったり。声をかけたり声をかけてもらったり。自分から挨拶できたり挨拶してもらえたり。自分が我慢したり相手にゆずってもらったり…。ほかにもまだまだあると思いま

す。仲のいい友達だけでなく、クラスや学年という大きな集団の中で、周りのことを思いやり、みんなが達成感



を得られるためには今何をすべきかを、みなさんは行事を通じて学ぶことができたのだと思います。この成長を、この後の学校生活に大いに生かしてくださいね。

## 三年先の稽古

みなさんは相撲に興味はありますか？私は大相撲の本場所（年間6場所、奇数月に開催）を心待ちにしている相撲ファンです。今月行われた5月場所では、石川県津幡町出身の「大の里」が優勝して、大いに盛り上がりました。



さて、相撲の世界には、「三年先の稽古(さんねんさきのけいこ)」という言葉があります。力士の身体は簡単には作れない。なので三年先の自分の姿を目標にして、今できることに全力を尽くし、努力を継続するという意味です。みなさんも、目先のことだけを考え、楽な方に流されたり、しなければならないことから目を背けたりするのではなく、なりたい自分の姿をイメージして、今できる努力をしっかりと続けてください。

目標達成に向けて頑張るみなさんを応援しています。

**目標達成!**